

# 第3次鳥羽市観光基本計画 (素案)

鳥羽市

# 目次

<b>第1章 計画策定の趣旨</b>	.....	02
1. 計画の背景と目的	.....	03
2. 計画期間と体系	.....	04
<b>第2章 鳥羽市の観光の現状と課題</b>	.....	05
1. 鳥羽市の概要	.....	06
2. 鳥羽市の観光の動向	.....	07
3. 国や県などの観光の動向	.....	09
4. 上位関連計画との関係	.....	10
5. 第2次観光基本計画の評価	.....	11
6. 現状と課題	.....	12
<b>第3章 鳥羽市の観光の目指す姿</b>	.....	15
1. 目標像	.....	16
2. 目標像を実現するための基本方針	.....	17
3. 計画の目標値	.....	19
<b>第4章 基本戦略と主要施策</b>	.....	22
1. 8つの基本戦略の位置づけ	.....	23
2. 基本戦略と主要施策	.....	24
<b>第5章 計画の実現に向けて</b>	.....	40
1. 計画の推進体制	.....	41
2. 各主体の役割	.....	43
<b>資料編</b>	.....	44

# 第1章 計画策定の趣旨

鳥羽市では、2008年1月に「鳥羽市観光基本計画」(以下、「第1次観光基本計画」)、2015年3月に「第2次鳥羽市観光基本計画」(以下、「第2次観光基本計画」)をそれぞれ策定し、観光振興に取り組んできました。

2016～2025年度を計画期間とする第2次観光基本計画では、目標像を『国際的な滞在拠点を目指した「鳥羽うみ文化の継承と創造』』と定め、計画に基づいた施策を展開してきました。

第2次観光基本計画の計画期間中には、2020年からの世界的な新型コロナウイルスの大流行に伴い旅行者は激減し、鳥羽市に限らず観光地や観光産業は大きな打撃を受けました。その後、旅行者数は急激に回復し、2024年には、日本人の旅行消費額(約25.1兆円)、訪日外国人の旅行者数、消費額(約3,687万人／約8.1兆円)がいずれも過去最高を記録しています。

また、2019年1月より国際観光旅客税(出国税)が導入されたほか、国内各地の自治体で宿泊税をはじめとする観光財源への注目が高まっており、鳥羽市においても2026年4月より宿泊税が導入されます。

このような時代の変化に対応した観光振興の取り組みが求められており、その財源として宿泊税の活用が期待されています。

この度、第2次観光基本計画が2025年度で満了を迎えることから、新たに「第3次鳥羽市観光基本計画」(以下、「第3次観光基本計画」)を策定します。

第3次観光基本計画は、対象地域を鳥羽市内全地域とし、鳥羽市の観光が将来進むべき方向性を示す羅針盤として位置付けます。市内の観光関係者で計画の目標を共有し、地域一丸となってそれぞれの役割を果たすことで、目標の実現を目指します。

第3次観光基本計画は、2026～2035年度までの10年間を計画期間とします。

また、計画の推進にあたっては、社会情勢の変化などに対応しながら施策に取り組む必要があることから、計画期間の10年間を前期(3年間)・中期(3年間)・後期(4年間)の3つの期間に分け、それぞれの期間ごとに、具体的な施策を整理した実行計画として「アクションプログラム(AP)」を別途策定します。

### 計画期間

**2026(令和8)年度～2035(令和17)年度 【10年間】**

第3次鳥羽市観光基本計画(10年間)

**2026～2035年度**

前期AP(3年間)

中期AP(3年間)

後期AP(4年間)

2026～2028年度

2029～2031年度

2032～2035年度

2033年  
式年遷宮

## 第2章 鳥羽市の観光の現状と課題

鳥羽市は、三重県東端部の志摩半島北側に位置し、伊勢湾と太平洋・熊野灘に面しており、市域は神島・答志島・菅島・坂手島の4つの有人離島と半島部から構成されています。市域面積は108.05平方キロメートルであり、70%以上を森林が占めています。

平地は海岸線沿いに分布しており、市域の多くは急峻な山地となっています。また、海岸線は、山地が海岸部まで迫っているため、風光明媚なリアス海岸が形成されており、全域が昭和21年に伊勢志摩国立公園の指定を受けています。海岸部は古くから豊かな漁場となっており、今日まで海女漁をはじめとする多様な漁業が続けられています。

本市には、海藻研究を主とする鳥羽市水産研究所が整備されており、海藻の研究や、漁業者への養殖に関する助言などを行っています。また、三重大学水産実験所や名古屋大学臨海実験所、鳥羽市立海の博物館、御木本真珠島 真珠博物館など、海に関する研究機関や博物館が集積しており、本市は「海洋都市」としての特色を有しています。

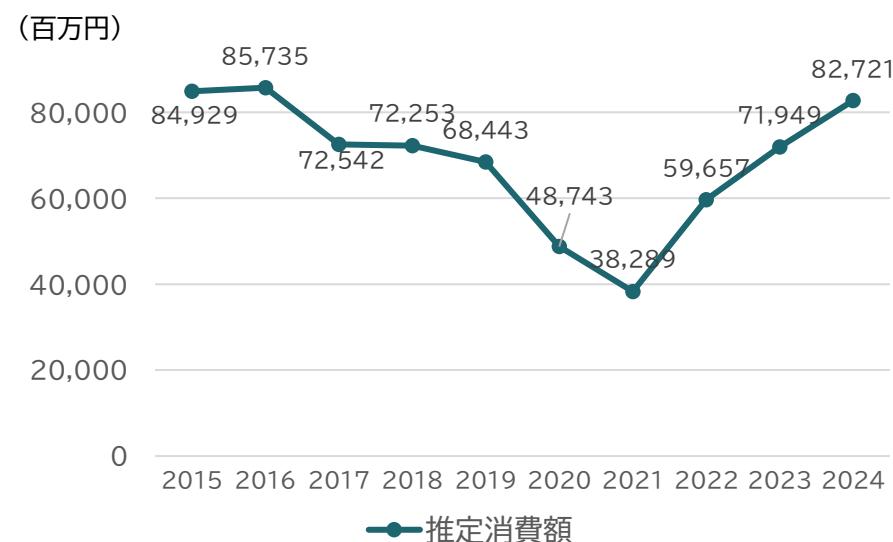
#### 観光の動向

- **観光入込客数及び宿泊者数(2024年)**
  - 観光客数:4,153,956人／宿泊者数:1,604,572人
  - 長期的には漸減傾向にあり、1991年より観光客数(6,998,403人)、宿泊者数(2,861,342人)はいずれも約4割減少
- **推定消費額(2024年)**
  - 82,721,334千円
- **外国人宿泊者数(2024年)**
  - 42,354人 人数、宿泊者数に占める割合ともに近年は増加傾向

観光客数・宿泊客数の動向



推定消費額の動向



### その他の動向

#### ● 人口・世帯

- 総人口:17,525人／世帯数:7,382世帯(2020年国勢調査)
- 総人口は1960年(30,521人)をピークに約4割減少

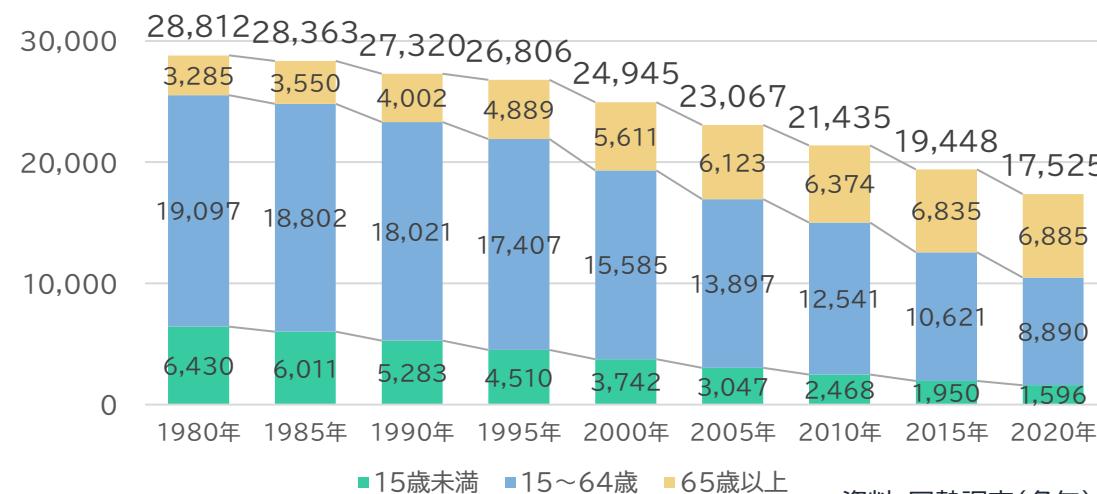
#### ● 産業

- 宿泊業、飲食サービス業の事業所数:292事業所、従業者数:3,326人(2021年経済センサス)
- 市内の総数(912事業所、7,197人)のうち、事業所は約32.0%、従業者数は46.2%

#### ● 財政

- 市税歳入:2,780,651千円／入湯税歳入:161,084千円(令和6年度決算)
- 観光商工費歳出:389,556千円、歳出総額の約2.9%(令和6年度決算)
- 市税は人口減少に伴い減少傾向
- 2026年4月より宿泊税を導入(1人1泊あたり200円)

人口の推移



#### 国の動向(いずれも2024年)

- 国内旅行消費額
  - 25兆1,536億円(過去最高) 2019年比14.7%増、2023年比14.8%増
- 国内延べ旅行者数
  - 5億3,995万人 2019年比8.0%減、2023年比8.5%増
- 国内旅行単価
  - 46,585円／人(過去最高) 2019年比24.7%増、2023年比5.8%増
- 訪日外国人旅行者数
  - 36,869,900人(過去最高) 2019年比15.6%増、2023年比47.1%増
- 訪日外国人旅行消費額
  - 8兆1,257億円(過去最高) 2019年比68.8%増、2023年比53.1%増
  - 1人当たりの旅行支出は約22万7千円

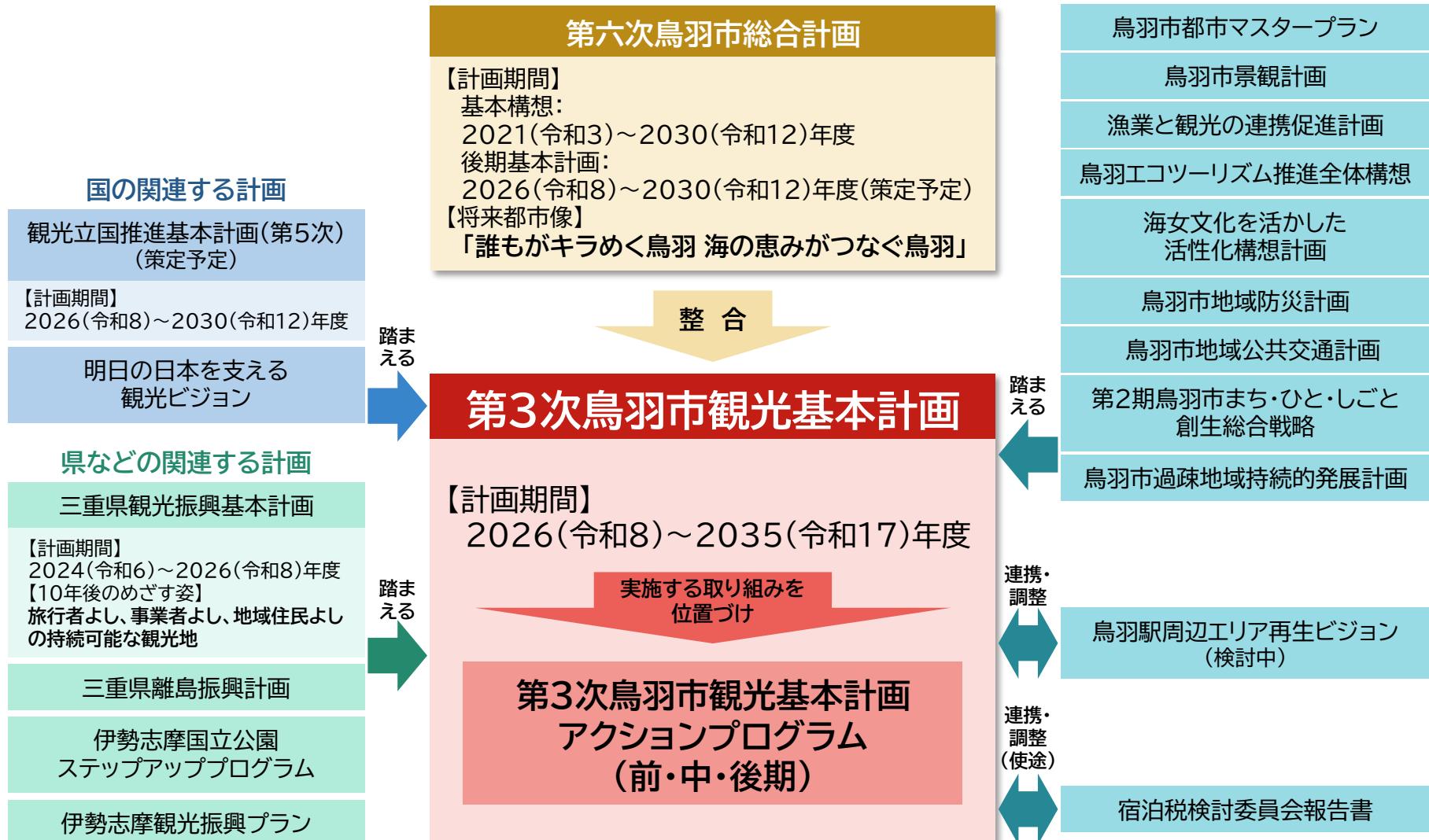
#### 三重県の動向(いずれも2024年)

- 観光レクリエーション入込客数
  - 30,582千人 2019年比22.7%減、2023年比0.1%減
- 観光消費額
  - 5,236億円 2019年比6.8%増、2023年比6.3%減
- 延べ宿泊者数
  - 8,370,240人 2023年比14.1%増／うち外国人:241,130人 2023年比19.9%増

## 4. 上位関連計画との関係

### 第2章 鳥羽市の観光の現状と課題

第3次観光基本計画は、市の上位計画である第六次鳥羽市総合計画をはじめとする各関連計画、国の観光立国推進基本計画(策定予定)など国や県等の計画との整合を図り策定します。



第2次観光基本計画では、目標像『国際的な滞在拠点を目指した「鳥羽うみ文化の継承と創造」』の実現に向けて様々な施策が展開されました。また、アクションプログラムを前期(2016～2018年度)、中期(2019～2021年度)、後期(2022～2025年度)の3期に分けて策定し、各期の終了時に計画の進捗について評価を行いました。

第2次観光基本計画の評価の概要は以下の通りです。

## ● 比較的評価が高かった取り組み

- **宿泊産業の活性化**に関する取り組みは、前・中・後期を通じて比較的評価が高くなりました。特に、後期APIにおいては、目指す到達点として定められていた「それぞれの宿泊施設が個性を活かしており、それが対外的に発信されている」に対する評価が高い結果となりました。
- 目標像にも定められている「**鳥羽うみ文化**」の創出・具現化に関する取り組みや、**漁業と観光の連携**に関する取り組みは、特に中期から後期にかけて比較的高い評価となりました。

## ● 比較的評価が低かった取り組み

- 目標値については、コロナ禍を挟んだこともあり、達成できたのは観光消費額[目標値:716億円(2025年度)／実績値:827億円(2024年度)]の1項目にとどまりました。
- **賑わい創出・景観整備**に関する取り組みは、中期から後期にかけて低い評価となりました。
- **推進体制の構築**については、前・中・後期を通じて比較的評価が低いという結果になりました。

## 内部環境

### ● 鳥羽駅周辺の再整備、中心市街地の賑わい創出、回遊性創出

- 鳥羽駅周辺は、鳥羽市の玄関口ですが、空きビルを含めて建物が老朽化しており、拠点としの魅力に欠けています。また、中心市街地につながる鳥羽駅のJR側出入口はバリアフリー化がされていません。
- 中心市街地(鳥羽駅周辺～岩崎エリア周辺)の賑わいが不足しており、中心市街地の回遊性向上が課題となっています。
- 道路など公共空間の維持管理と環境・景観整備が必要です。

### ● 二次交通の充実・利便性向上

- 鉄道(近鉄・JR)、バス、タクシー、国道、航路が集まる結節点ですが、充分に活かされていません。
- 鳥羽バスターミナルの再整備、かもめバスの利便性向上、タクシー不足の解消、カーシェアリングの活用などにより二次交通の充実、利便性向上が必要です。
- 旅館送迎の共同運行などが検討されていますが、法的なハードルもあり実現には至っていません。

### ● 豊富な観光資源を活用した魅力ある観光地づくり

- 鳥羽には豊富な観光資源があることから、それらを活用して魅力ある観光地づくりにつなげることが必要です。
- 観光資源が豊富であるため「鳥羽と言えばこれ」というイメージ、一言で語れるストーリーがないという現状もあります。

## 内部環境

### ● 施設リニューアルと生産性向上

- 老朽化したまま宿泊施設や観光施設がみられ、施設のリニューアルや生産性向上が求められています。
- 施設改修にあたっては、バリアフリー化や環境負荷低減のための配慮など、時代の変化に応じた対応が必要です。また、それらの対応に関する地域や事業者への周知が課題となっています。

### ● 漁業と観光の連携

- 引き続き、海女や漁業をテーマとした漁観連携の事業を推進していくことが必要です。
- 鳥羽産の海産物を適正な価格での流通、観光客や市内の事業者が購入できる加工場や市場等の充実が求められています。

### ● 人材不足への対応

- 近年、各事業者における人材不足が課題となっており、その対策として様々な取り組みは行われているものの解決には至っていません。人材不足に伴いサービス低下につながる恐れがあることから、就労環境改善による定着率向上、多様な人材を受け入れる環境整備、業務効率化などが求められています。
- 船員や通訳など専門性の高い人材や、観光振興の担い手の確保も課題となっています。

### ● 横のつながりのある推進体制づくり

- 官民連携の体制づくりを更に強化し、事業を引き続き推進していくことが必要です。

## 内部環境

### ● 安定的な財源確保

- 持続可能な観光振興のための安定的な財源確保が必要です。2026年4月より導入される宿泊税の使途について、適切なガバナンス体制を構築し、観光振興のための施策に充当することが重要です。

### ● DX推進

- マーケティング、情報発信、予約サービスの提供などにおけるDX対応が必要です。
- 人材不足解消にもつなげるため、IT技術を活用した業務効率化が求められています。

## 外部環境

### ● 来訪者の減少・短い滞在時間

- 中長期的に来訪者数が減少傾向にあります。また、日帰り、1泊での来訪が多くを占めており、短い滞在時間が課題となっています。

### ● インバウンドなど多様な観光客の受入、来訪者への適切な情報提供

- インバウンドなど多様な来訪者に対応するため、ハード、ソフト両面から受入環境の充実が必要です。
- IT技術も活用しつつ、飲食店や利便施設などの情報提供が必要です。また、多言語版のパンフレットの制作、ワンストップ案内所や適切な手段によるリモート案内など、観光客にあらゆる情報の提供や手配ができる窓口が求められています。
- 災害時の適切な情報提供が必要であり、その際にはスマートフォンを所持しない観光客や外国人観光客への情報提供手段を考慮する必要があります。

## 第3章 鳥羽市の観光の目指す姿

鳥羽市は大小様々な島々やリアス海岸、伊勢湾や三河湾といった内海と熊野灘や遠州灘といった外洋が交じり合う豊饒(ほうじょう)の海に囲まれ、海と密接にかかわる市民の暮らし、生業が育まれてきました。この鳥羽特有の海は、観光の面でも食、自然、歴史文化など魅力的でかけがえのない観光資源をもたらしています。第2次観光基本計画においては、独特で特徴ある海そのものと、海を通じて生まれた歴史や生活文化、漁業文化の総体として「鳥羽うみ文化」と表現し、「鳥羽うみ文化」の継承と創造のため、様々な取り組みを推進してきました。

人口減少社会を迎えるなか、持続可能な鳥羽市のまちづくりに観光が果たす役割は大きく、鳥羽らしさの核である「鳥羽うみ」の恵みを、経済面、環境面、生活面等において循環させていくと共に、それを来訪者と共に享受する観光まちづくりを進めることで、唯一無二の海洋文化都市を実現していきます。

## 鳥羽観光の目指すべき目標像

「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり  
～ *The Blessed Sea* ～

### 【案】

～「鳥羽うみ」の恵みを永遠(とわ=108)につなぐ海洋文化都市～

～「鳥羽うみ」の恵みを分かち合い、未来へつなぐ唯一無二の海洋文化都市～

豊饒の海 世界に開く

### 基本方針

#### 「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり

「鳥羽うみ」の恵みをエリア、時間、分野を超えて循環させることで、誰もが幸せになる

##### 観光客がめぐる

- ◆ 鳥羽駅を拠点に離島や南鳥羽のアクセス向上により市内回遊の促進
- ◆ 伊勢志摩広域をめぐる宿泊拠点としての魅力のさらなる向上

##### 関係人口がめぐる

- ◆ 鳥羽に愛着を持ち、多様な目的で訪れる関係人口の増加
- ◆ 何度も鳥羽を訪れるリピーターや長期滞在者の増加

##### 食、生業がめぐる

- ◆ 鳥羽で生産された素材や食材を域内で消費する
- ◆ 鳥羽の魅力の根源である第一次産業の担い手が育つ
- ◆ 鳥羽うみと共に培われた文化の継承

##### 経済がめぐる

- ◆ 経済効果を外に逃さず市内で享受
- ◆ 施設整備、観光振興のための投資サイクルがまわる
- ◆ 地域や観光客、事業者、市民等への宿泊税の活用・還元

##### 従事者がめぐる

- ◆ 働く、住む、子を育てるサイクルの創出
- ◆ 新規就業希望者が常にいる状況の創出

##### 市民がめぐる

- ◆ 子供の頃から鳥羽を知る教育により、地域への思いを育てる
- ◆ 市民の雇用機会(Uターンを望む人を含む)の創出

##### 環境がめぐる

- ◆ 資源の保護、育成と循環による環境配慮、意識向上

### ● 目標像実現のイメージ

多くの観光客が鳥羽に求めているのは、美味しい海産物、美しい海の景観、そして海女文化といった、まさに「鳥羽うみ」の魅力です。

まず大前提となるのは、大切な「鳥羽うみ」を未来へ引き継ぐための環境保全です。

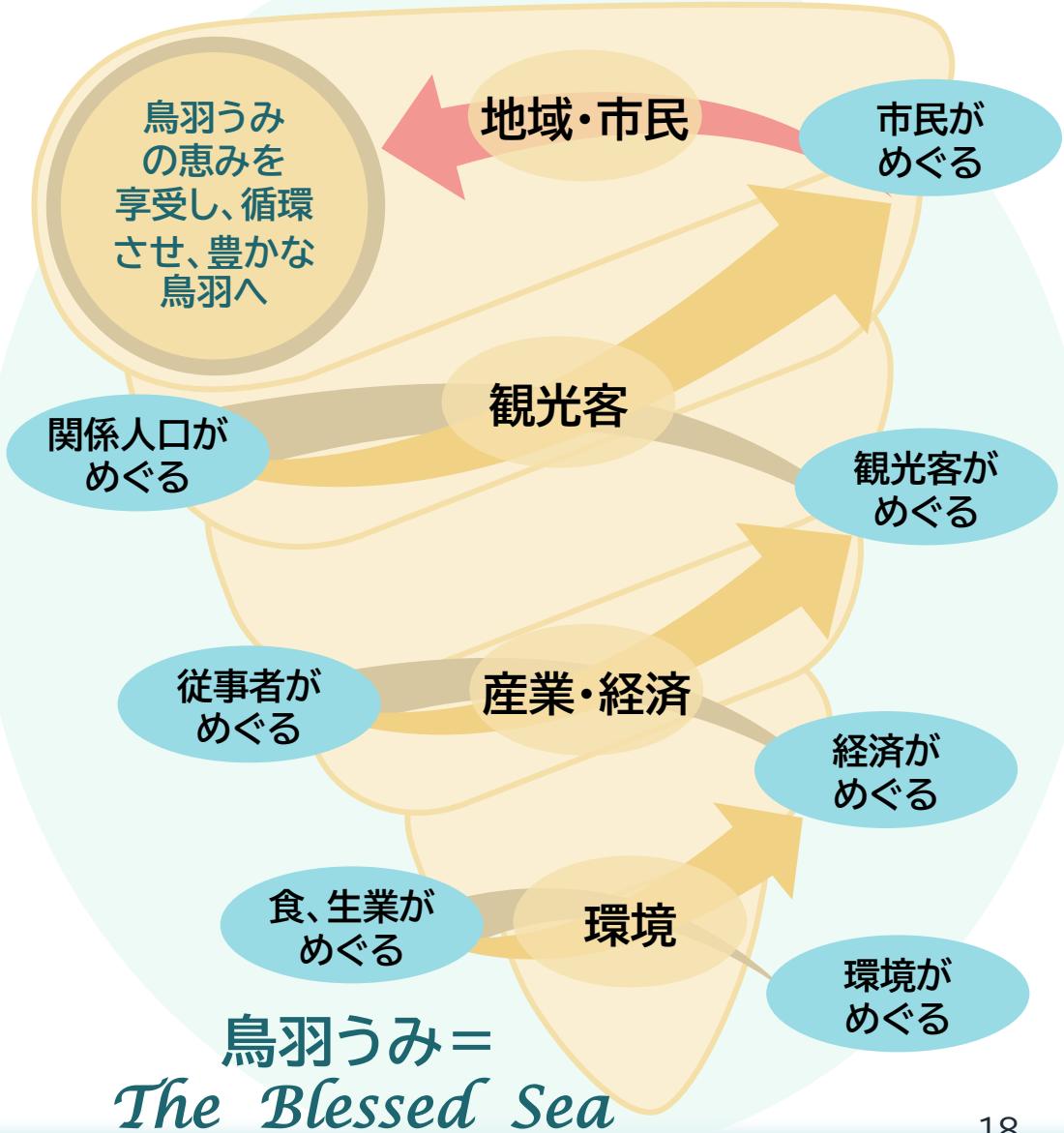
その上で、地域経済の好循環を生み出すことが重要です。地元産の食材を地域で消費し、水産業をはじめとする第一次産業を支え、育てる。こうした取り組みが経済全体を潤します。

さらに、観光産業の担い手が働きやすい環境づくりによって、働く、住む、育てるサイクルにつながり、従事者の満足度が高まり、サービスの質が高まります。

こうして高まった鳥羽の魅力を、訪れた方々が存分に味わい、市内を「回遊」できる仕組みを整えれば、リピーターや「鳥羽ファン」が増えていきます。やがてそれは、多様な形で地域と関わる「関係人口」の増加につながり、中には鳥羽に移住し、新たな市民となる人も現れるでしょう。

このように「経済」「暮らし」「人の縁」の循環を育んでいくことこそが、私たちが目指す「鳥羽うみと共に生きる観光まちづくり」といえます。

### 「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり



目標像	「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづく ~ The Blessed Sea ~
基本方針	「鳥羽うみ」の恵みをエリア、時間、分野を超えて循環させることで、誰もが幸せになる

## ● 目標値設定の考え方

目標像実現に向けた達成度を測るために、成果指標を設定し、数値目標を定めます。

検討にあたっては、目標像の実現に寄与しているかという考えに基づき、計画全体ならびに前項の目標像実現のイメージでとりあげた4つの要素ごとに、それぞれ以下の通り指標を設定します。

	指標設定の考え方	指標
全体	➤ 観光が鳥羽の経済を豊かにしていること	・ 経済波及効果(域内調達率)
地域・市民	➤ 市民が観光の効果を実感できていること	・ 持続可能な地域としての市民満足度 ・ 鳥羽市にとっての観光の重要度
	➤ 市民が観光客におもてなしの心を持って接していること ➤ 市民が鳥羽に長く住み続けたいと感じていること	・ 観光客に対しおもてなしの行動をとった市民の割合 ・ 定住意向
観光客	➤ 観光客が鳥羽での滞在を満足していること	・ 来訪者満足度 ・ ネットプロモータースコア(推奨度) ・ リピーター率
	➤ 観光客が地域で消費していること	・ 消費単価
産業・経済	➤ 観光産業が働きやすい環境であること	・ 従業員満足度 ・ 継続就労意向 ・ 平均給与額
環境	➤ 環境保全につながっていること ➤ 海などの環境の保護、回復につながっていること	・ 温室効果ガスの排出量 ・ 漁獲量・生育量

### 3. 計画の目標値

第3章 鳥羽市の観光の目指す姿

#### ● 目標値

指標		現状値	目標値	備考	
全体	経済波及効果 (域内調達率)	鳥羽市観光経済波及効果調査	891億円 (H29年度)	1,250億円 (R12年度)	R9~11(2~4年目)、 R16(9年目)に実施予定
地域・市民	観光に対する関心度	鳥羽市民アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	「非常に関心がある」、 「関心がある」の割合
	観光に対する関連度	鳥羽市民アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	「非常に関心がある」、 「関心がある」の割合
	観光に対する推奨度	鳥羽市民アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	
	観光の重要度	鳥羽市民アンケート	14.4% (R6年度)	25% (R12年度)	
観光客	定住意向	鳥羽市市民アンケート	70.1% (R6年度)	80% (R12年度)	
	来訪者満足度	鳥羽市観光案内所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	「非常に満足」、 「満足」の割合
	再来訪率(リピート率)	鳥羽市観光案内所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	「2回以上」の割合
	観光に対する推奨度	鳥羽市観光案内所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	
産業・経済	観光消費額	鳥羽市観光統計調査	82,721,334千円 (R6年)	107,500,000千円 (R12年)	
	従業員満足度	市内事業所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	
	平均給与総額	市内事業所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	
環境	外国人労働者定着率	市内事業所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	
	温室効果ガスの削減	鳥羽市ゼロカーボンシティ推進計画	153千t-CO <sub>2</sub> (R2年度)	144千t-CO <sub>2</sub> (R12年度)	

## ● 参考

### 指標設定の考え方

- ✓ SMART原則: Specific(具体的)、Measurable(測定可能)、Achievable(達成可能)、Relevant(関連性高く)、Time-bound(期限を設けて)に設定することが重要。
- ✓ できるだけ客観的に把握できること(回答者の心がけ等ではなく、実際にやっているかやっていないかで判断できるもの)
- ✓ 定期的&継続的に無理なく把握できること(莫大な費用や労力をかけなくても把握できること)

### ポイント

- ✓ 国として把握することが推奨されている項目(赤字:「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」の中で地域として把握するよう求められているもの)
- ✓ 目標値を設定するものと、数値を把握するモニタリング項目(目標値は設定せずバランスを見る上で把握)としての棲み分け
- ✓ アナログな統計やアンケートだけでなく、デジタルを組み合わせた指標もありうる(センサーヤビッグデータを活用した数値等)
- ✓ 総合計画や関連計画の指標との棲み分け(どこから観光計画における指標とするか)



※赤字は「DMO-新KPI体系（観光地域づくり法人（DMO）によるKGI・KPI計測に係る手引書ver1.0）」で例示されているもの

## 第4章 基本戦略と主要施策

以下の通り、8つの基本戦略を定め、それぞれの基本戦略毎に主要施策を位置付けます。あわせて、それぞれの基本戦略と目標像実現につながる基本方針との関係性を以下に示します。

目標像	The Blessed Sea ~鳥羽うみと共に生きる観光まちづくり~							
基本方針	「鳥羽うみ」の恵みをエリア、時間、分野を超えて循環させることで、誰もが幸せになる							
基本戦略	観光客 がめぐる	関係人口 がめぐる	食、生業 がめぐる	経済 がめぐる	従事者 がめぐる	市民 がめぐる	環境 がめぐる	
	●	●						
	●		●	●			●	
	●	●	●					
	●			●	●			
	●	●						

### 基本戦略1

### 鳥羽らしい自然環境配慮型の観光の推進

「鳥羽らしさ」の核となる「鳥羽うみ文化」とは、大小さまざまな島々や内海と外洋が交じり合うことで創出される独特の海そのものと、海を通じて生まれた歴史、生活文化、漁業文化などの総体です。これらは先人たちが守り育んできたかけがえのないものであり、恵みを享受しながらも次世代に残せるよう保全をしていくことは、鳥羽の観光を推進していく上での大前提になります。また、鳥羽の海洋環境を深く理解するには、単なる自然科学的な側面だけでなく、伊勢神宮に代表される神話や歴史、そして地域に根付いた文化と一緒に捉え、その価値を表現し、提供していくことが重要です。

また、2026年には伊勢志摩国立公園指定80周年を迎えます。こうした節目に、改めて歴史を紐解くと共に、国立公園の中で生活しているという認識のもと、観光客のみならず市民の参加も促進し、豊かな自然・文化に市民が誇りを持てるようにしていくことも重要です。

#### 【近年の取り組み】

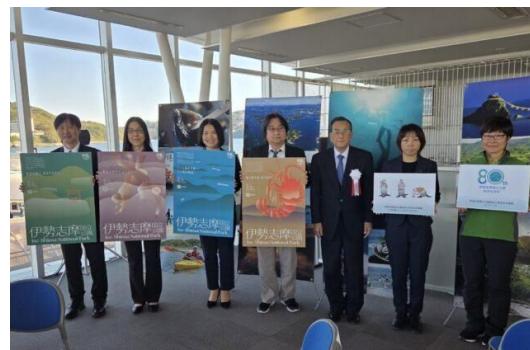
##### 伊勢志摩国立公園指定80周年記念広報媒体制作発表 (2025年11月)

第8回石原円吉賞表彰式に合わせて、伊勢志摩国立公園指定80周年記念事業実行委員会が制作した記念ロゴマーク、ポスターならびにラッコのメイちゃんを起用したPR大使イラストの制作発表がおこなわれた。

伊勢志摩国立公園指定80周年記念事業  
ロゴマーク



伊勢志摩国立公園指定80周年記念事業  
PR大使 ラッコのメイちゃん



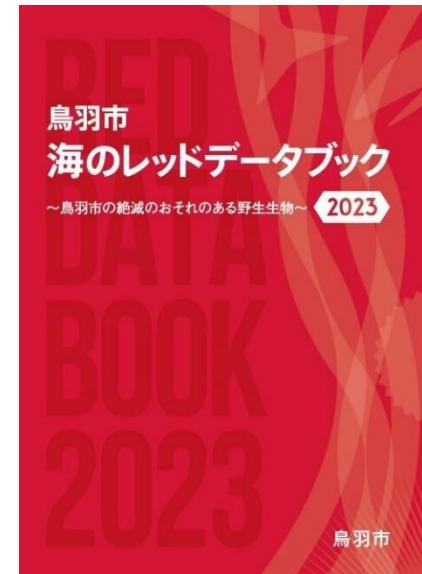
<https://www.ise-shima.or.jp/news/11-20-%E4%BC%8A%E5%88%A2%E5%BF%97%E6%91%A9%E5%9B%BD%E7%AB%8B%E5%85%AC%E5%9C%92%E6%8C%87%E5%AE%9A80%E5%91%A8%E5%9B%84%E8%A8%98%E5%BF%B5%E5%BA%83%E5%A0%B1%E5%AA%92%E4%BD%93%E5%88%B6%E4%BD%9C%E7%99%BA/>

<https://www.ise-shima.or.jp/main/wp-content/uploads/2025/11/0d9625710592b731b4a4d7b02cc18aff.pdf>

#### 「鳥羽市海のレッドデータブック2023

##### ～鳥羽市の絶滅のおそれのある野生生物～」を作成 (2023年8月)

鳥羽市では、海の現状を把握し、未来に向けた基礎資料として活用することを目的として、鳥羽市内の絶滅のおそれのある海の野生生物を紹介した「鳥羽市海のレッドデータブック2023～鳥羽市の絶滅のおそれのある野生生物～」を作成



[https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/kanko\\_kikaku\\_gyomu/kanko\\_joho/RBD/7708.html](https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/kanko_kikaku_gyomu/kanko_joho/RBD/7708.html)

### 主要施策1-1 伊勢志摩国立公園の保全と活用

#### 【具体的な取り組み例】

- 海の環境に影響を与える活動の抑制
- 伊勢志摩国立公園80周年を契機としたプロジェクトの推進
- 自然公園内で生活することを認識するインナープロモーション
- サイン類による伊勢志摩国立公園の区域内であることの発信

### 主要施策1-2 鳥羽うみを守りながら楽しむ体験コンテンツの充実

#### 【具体的な取り組み例】

- 海水浴場や鳥羽うみを感じられる親水空間の整備
- 楽しみながら自然保護にもつながるアクティビティの開発
- 自然体験コンテンツの高付加価値化
- 質に見合った対価を得られるプロのガイド育成(人を介在して楽しんでもらう仕組みの構築)
- 小学生から高校生まで鳥羽の子供たちによるガイドの実施
- 体験を提供する団体等の認定や育成

### 主要施策1-3 鳥羽ならではの海洋環境をテーマとした旅行やMICEの推進

#### 【具体的な取り組み例】

- 特徴的な教育旅行プログラムの構築
- 鳥羽うみライブラリーの浸透・拡大、活用促進
- 海洋関連の国内外の学会等の誘致
- 鳥羽をフィールドとした研究促進に向けた大学等との連携

### 主要施策1-4 環境負荷の少ない観光産業の実現

#### 【具体的な取り組み例】

- 鳥羽ならではの環境負荷の少ない観光産業の定義と取り組み起業の認定
- 「鳥羽市地球温暖化対策実行計画」の実現に向けたアクション

### 基本戦略2 鳥羽産食材の徹底的な流通、提供

鳥羽には、鳥羽の豊かな海で獲れる魚介類をはじめとする鳥羽の食を求めて多くの観光客が訪れます。観光客が期待する鳥羽産食材をより確実に提供できるよう、流通と提供について強化します。漁師や海女をはじめとした「漁業の進展なくして観光業の進展なし」と言われるよう、双方が安定的に発展する仕組みを構築します。その中核となるのが、2015年から実施している漁観連携の取り組みです。一定の成果は見られるものの、現状の課題をふまえて取り組みを強化することで、力強く地域経済を牽引していきます。また、それらの基盤である海洋環境と水産資源の保護も引き続き最優先課題として推進し、独自の魅力を持つ国際的な滞在拠点としての地位確立を目指します。

#### 【近年の取り組み】

##### 黒ノリ・ワカメ養殖でJブルークレジット認証(2024年4月)

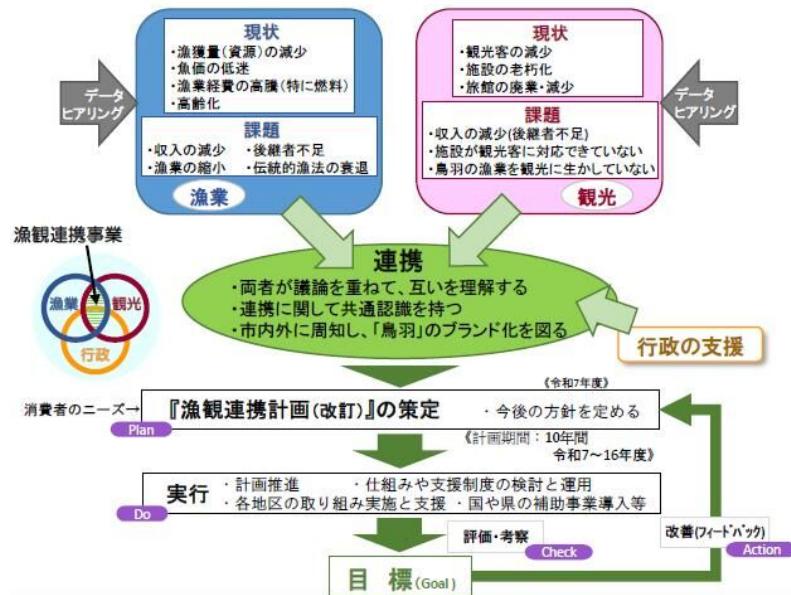
J ブルークレジット® とは、海中の藻類等によって見込まれる CO2 の吸収・削減効果(ブルーカーボン)を企業や法人などが買い取り、カーボンオフセットに寄与する制度。今回の認証は黒ノリ養殖とワカメ養殖が対象。養殖業での認証は全国的に珍しく、中でも黒ノリ養殖は全国初の認証。



<https://www.city.toba.mie.jp/material/files/group/8/20240403bluecredit.pdf>

##### 「漁業と観光の連携促進計画」の見直しの流れ(2025年度)

2015年に策定された「漁業と観光の連携促進計画」も10年が経過し、今後10年に向けての方針が検討されている。



### 主要施策2-1 漁観連携のさらなる発展

#### 【具体的な取り組み例】

- 漁観連携事業の見直しによる発展(鳥羽の魚を「食べる」「価値を上げる」、鳥羽の海の「環境を守る」の推進)
- トロさわらに続く鳥羽ざかなのブランド化と身近な魚種の付加価値の向上
- ブランド魚種の地元流通確保
- 集約加工場の活用によるスムーズな仕入れと流通の確立、域内調達率の向上、漁業者の所得向上
- 生産者と宿泊・飲食事業者、加工業者等とのマッチング機会の創出

### 主要施策2-2 鳥羽うみの豊かな食材の流通促進

#### 【具体的な取り組み例】

- 地元産食材の宿泊施設・飲食店への流通促進
- 地元産食材を提供する飲食店の充実
- 旬の鳥羽ざかなの定期便等、オンライン販売の強化
- 生産者の顔がみえる情報発信、鳥羽の食材や料理に関するストーリーのPR
- 未利用魚等を活用した料理や加工品の開発
- 鳥羽産食材を活用した多様な食べ方の紹介、アレンジレシピの開発、提供

### 主要施策2-3 海女・漁業者の担い手育成

#### 【具体的な取り組み例】

- 海女・漁業者の働きやすさの向上
- 海女・漁業者の担い手・後継者の育成
- 海女、漁業の技術・文化を学ぶ機会の創出(海の博物館等との連携)

### 主要施策2-4 海洋環境、水産資源の保護

#### 【具体的な取り組み例】

- 漁獲量回復・拡大に向けた研究と実践(水産研究所や他の研究機関、研究者等との効果的な連携)
- 藻場の再生
- 気候変動に伴う海洋環境の変化にあわせた操業時間や漁法の検討

### 基本戦略3 滞在したくなる宿泊の魅力向上

鳥羽市での宿泊体験そのものの価値を高めるため、宿泊につながる早朝や夜間のイベント、宿泊者限定の体験コンテンツの造成、泉源の保護と温泉の魅力発信等を通じて「泊まりたくなる魅力」を創出します。これと同時に、多様な食の魅力を感じていただき連泊にも対応するため、「泊食分離」の推進と中心市街地等の飲食店の充実を図ります。また、住民にも鳥羽の魅力を感じていただくため近隣住民向けの優待プログラムの実施にも取り組みます。

また、伊勢志摩の滞在拠点としてシングルユース、連泊、ワーケーションといった多様な宿泊形態への対応を進めるとともに、適切なサイクルでの施設改修促進支援や式年遷宮を契機としたプロジェクトを推進します。さらに、伊勢神宮にまつわるストーリーや伊勢志摩国立公園としての特性を活かした行政域を超えた広域連携による周遊の魅力づくりを強化します。

#### 【近年の取り組み】

##### 鳥羽市宿泊施設等バリアフリー改修工事補助金 (2025年5月)

お体の不自由な  
かたや高齢者  
のかたが、安全で快  
適に過ごすことが  
できるバリアフ  
リー化を目指す市  
内宿泊施設およ  
び観光施設、飲食  
店事業者などを  
対象に、バリアフ  
リー改修工事に係  
る費用を補助。



<https://www.city.toba.mie.jp/material/files/group/9/20250609.pdf>

##### 鳥羽旅館組合×鳥羽水族館 3days限定プレミアムナイト (2025年12月)

対象の宿泊施設にお泊まりのお客様限定で、普段は見ることのできない閉館後の鳥羽水族館を貸し切りにして、ナイトアクアリウムをお楽しみいただける企画。期間中は、鳥羽水族館へのアクセスに便利な「共同運行バス」および「施設送迎バス」がご利用いただける。



[https://www.tobanoyado.com/event\\_nightaquarium\\_2025.php](https://www.tobanoyado.com/event_nightaquarium_2025.php)

### 主要施策3-1 泊まりたくなる魅力づくり

#### 【具体的な取り組み例】

- 宿泊につながる早朝・夜間のイベント、コンテンツ提供
- 宿泊者限定の体験コンテンツの造成
- 朝食の魅力づくり
- 宿泊施設の料理の質の向上や研究
- 泊食分離の推進と中心市街地等の飲食店の充実
- 旅のスタイルの提案(鳥羽での過ごし方)
- 平準化を目指した近隣住民向けの宿泊促進や閑散期対策
- 泉源の保護と温泉の魅力の発信

### 主要施策3-2 伊勢志摩の滞在拠点としての宿泊の魅力向上

#### 【具体的な取り組み例】

- 各宿泊施設の個性の発信
- 多様な宿泊形態への対応(シングルユース、連泊、ワーケーションなど)
- 適切なサイクルでの施設改修促進支援
- 式年遷宮を契機としたプロジェクトの推進

### 主要施策3-3 長期滞在につながる広域連携

#### 【具体的な取り組み例】

- 伊勢神宮にまつわるストーリーを活かした周遊の魅力づくり
- 行政域を超えた伊勢志摩国立公園としての滞在の魅力づくり

### 主要施策3-4 長期滞在から移住定住につながる受け入れ態勢整備

#### 【具体的な取り組み例】

- 空き家の活用などによる長期滞在施設整備
- 鳥羽ならではの移住体験プログラムの構築

### 基本戦略4

### 多様な観光客を迎える体制づくり

観光客の高齢化や外国人観光客の増加を見据え、この戦略では、外国人観光客の受け入れ環境をハード・ソフトの両面から集中的に整備します。具体的には、多言語対応の拡充や情報提供の改善などにより、言葉や文化の違いによる障壁を取り除きます。また、年齢、性自認、宗教、アレルギーの有無、障がいの有無などにかかわらず、多様な来訪者に対応できるようなハード面(施設、交通)とソフト面(サービス、情報)の体制を強化します。バリアフリー化やきめ細かな対応を通じて、誰もが安心して観光できる「優しい観光地」づくりを実現します。

#### 【近年の取り組み】

##### 英語での誘導を意識した防災訓練の実施(2025年11月)

宿泊施設の従業員が災害時に迅速・適切な対応ができるよう、鳥羽旅館組合は毎年避難訓練を実施。2025年度は外国人観光客の対応を想定し、日本語と英語による避難誘導放送を導入。これ以外にも鳥羽市では、津波を想定した避難訓練を毎年実施している。



<https://news.livedoor.com/article/detail/30073670/>

##### 指さし会話シート、日本文化説明資料の作成(2024年8月)

外国人観光客の受け入れに際して、事業者の皆様が活用できるツールを作成。シートを指さすことでの外国人観光客との意思疎通を図るために会話シートの他、トイレ・入浴のマナー、浴衣の着用方法等についても4言語で説明するツールを作成。

[https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/soko/gyomu/sangyo\\_shinko/kigyo\\_shien/2828.html](https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/soko/gyomu/sangyo_shinko/kigyo_shien/2828.html)

Information	英語 (English)
<b>In a Bathroom/Toilet:</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>When you use a Japanese-style bathroom/toilet, squat over the toilet bowl, facing its hemispherical hood.</li><li>Use the toilet paper provided in the bathroom/toilet and flush it down the toilet bowl.</li></ul>
<b>At a Public Bath:</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>Put your clothes in a basket or a locker provided in the changing room after taking them off.</li><li>Wash your body before getting into the bathtub.</li><li>Rinse off soap and shampoo before getting into the bathtub.</li><li>Do not get into the bathtub with a towel or underwear.</li><li>Do not put a soap, a towel, etc. into the bathtub. Do not pull out the drain plug.</li></ul>
<b>At a Restaurant and the Like:</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>Do not cut in line.</li><li>Do not open the packages of food, etc. before making a purchase.</li><li>Do not throw away leftovers and garbage on the floor.</li><li>Do not bring/take food and drinks to the restaurant/home.</li></ul>
<b>How to Wear a Yukata:</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>Put your arms through the sleeves of a yukata.</li><li>Wrap the left side of the yukata over the right side.</li><li>Wrap the sash around your body to tie it.</li><li>Yukatas are available for rent during your stay.</li></ul>
<b>Others</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>Do not take any equipment home with you.</li><li>Be sure to smoke only in the smoking areas.</li><li>Do not speak loudly when you walk along a corridor or eat at a restaurant.</li><li>Please do not wear shoes, slippers, etc. when you walk on a tatami floor.</li></ul>

鳥羽市

### 主要施策4-1 外国人観光客の受入体制・環境の整備

#### 【具体的な取り組み例】

- 積極的に誘致したいターゲット層の明確化  
(例:質の高い食に関心の高い層、知的好奇心の高い層、地元産のものを適正な価格で購入してくれる層、鳥羽の自然環境や人にリスペクトを持ってくれる層など)
- 通訳ガイドの登録と育成
- 宿泊施設、観光施設における英語対応の強化
- 災害時の多言語での正確な情報提供
- 地域内での波及効果の高いクルーズ船の適正な誘致
- 外国人観光客へのわかりやすいマナー伝達

### 主要施策4-2 多様な来訪者のハード、ソフト両面での受け入れ体制強化

#### 【具体的な取り組み例】

- 鳥羽駅周辺の案内所を集約したワンストップ窓口の整備
- 多様な来訪者が快適に滞在できるよう鳥羽市民1人ひとりによる「ちょっとした心遣い」の普及
- LGBTQ、アレルギー対応、宗教等への理解促進と受け入れ環境整備

### 主要施策4-3 アクセシブルツーリズムの推進による優しい観光地づくり

#### 【具体的な取り組み例】

- 宿泊施設、観光施設、交通機関等のバリアフリー化の促進
- バリアフリー対応施設の案内などの情報提供
- 各施設における適切な対応のための合同研修会などを通じた周知

### 基本戦略5 快適な都市基盤・景観の整備

鳥羽駅周辺を「鳥羽の玄関口」として整備し、到着時の印象を向上させるとともに、二次交通をワンストップで使いやすく分かりやすくすることで、市内各所への回遊性を大幅に向上させ、観光客の利便性を高めます。

さらに、鳥羽ならではの漁村集落の景観や沿道・沿線景観を磨き上げることで、滞在と回遊の満足度を高めます。これらの取り組みと並行して、災害時に迅速に観光客を誘導できる体制や、災害発生後に各主体と連携して観光客の安心を守れる体制を構築することで、観光客が安心して滞在できる環境を整えます。

#### 【近年の取り組み】

##### 「鳥羽駅周辺エリア再生ビジョン」の策定（2025年度）

交通・観光・歴史文化の拠点である鳥羽駅周辺エリアを、地域資源を活かしたまちづくりでさらに魅力的で価値ある場とするため、伊勢神宮の式年遷宮がある2033年第一部開業を目指して、エリア活性化に向けた取り組みを推進。



<https://www.city.toba.mie.jp/material/files/group/9/20250809.pdf>

##### 「鳥羽土産物商組合と災害時協力協定を締結（2025年8月）

大規模災害発生時において、食料などの提供を通じて迅速かつ円滑な物資供給体制の構築を目指すため、鳥羽土産物商組合と災害時協力協定を締結。その他、観光関連団体と以下のような連携協定を締結している。



協定先	協定名	年
鳥羽土産物商組合	災害時における物資供給の協力に関する協定	R7.8
相差旅館組合	災害時等における宿泊施設等の提供に係る協定	R7.1
鳥羽旅館事業協同組合	災害時等における宿泊施設等の提供に係る協定	R5.5

### 主要施策5-1 鳥羽の玄関口としての鳥羽駅周辺の整備

#### 【具体的な取り組み例】

- 鳥羽駅周辺整備
- 鳥羽駅周辺のバリアフリー化

### 主要施策5-2 使いやすくわかりやすい二次交通による回遊性の向上

#### 【具体的な取り組み例】

- スムーズな乗り換えスポットの整備
- 駐車場の整備とパーク・アンド・バスライドの促進
- 電気バスなど環境に配慮した移動手段の導入
- キャッシュレス化の促進
- サイクルツーリズムの推進
- 来訪者にも住民にも使いやすい定期船運航

### 主要施策5-3 漁村集落の景観や沿道・沿線景観の整備

#### 【具体的な取り組み例】

- 鳥羽駅前から海を一望できる空間の整備
- 漁村や離島の集落景観の保全
- 鳥羽駅周辺や幹線道路沿道の良好な景観整備
- 観光案内サインの定期的な点検と劣化したサインのリニューアル
- 鳥羽市内の景観資源、良好な視点場の魅力発信
- 空き家、廃屋の撤去の推進

### 主要施策5-4 災害に強い安全・安心な鳥羽づくり

#### 【具体的な取り組み例】

- 平常時から事業者や市民への防災に関する意識啓発、避難方法の周知
- 宿泊施設、観光施設における緊急時の受入体制の整備(防災備蓄品の配備、オペレーションの確認)
- 災害・気象変化に対応できる施設整備と人材教育
- 災害時に、外国人、高齢者、障がい者、子どもなど多様な観光客に対応できる適切な情報提供

### 基本戦略6

### 稼げてやりがいのある働きやすい鳥羽

観光産業を地域経済を力強く牽引し、将来にわたり人材が集まる魅力的な産業へと変革するための根幹を成す指針です。この戦略では、まず業務効率化や生産性向上に向けた支援を強化することで、観光産業全体を「稼げる」体質へと成長させます。その上で、収益が健全な再投資サイクルに結びつき、宿泊施設の設備投資やリニューアルが円滑に進むための支援を強化するとともに、地域を牽引する経営者の育成を進めます。同時に、労働環境や住環境の改善を支援するプログラム、外国人労働者のサポート、移住者への子育て支援の充実など、多様な人材が定着しやすい働きやすい就労環境の創出を徹底します。さらに、観光業に対する正しい理解促進や大学との連携によるリクルート活動、多様な年代の就労支援、共同での人材確保、起業支援といった施策を通じて、労働者がやりがいや誇りを感じ、働きたいと思える魅力的な雇用を創出することを目指します。これらの施策を一体的に推進することで、鳥羽の観光産業を地域で最も魅力的な職業の一つとして確立します。

#### 【近年の取り組み】

「鳥羽市リゾートワーク『私、宿で働きます！』～お客様の笑顔のためのジョブプライド.～」(2023年4月)

鳥羽市では、ハローワークとは独立した独自の無料職業紹介所相談窓口を開設。また、人手不足解消や就労促進に向けて、電子パンフレットを作成。「宿泊業を選んだ理由」や「実際の仕事の内容」、「仕事のやりがい」、また「休日の過ごし方」など、宿で働く先輩たちのリアルな声を紹介。



[https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/shoko/gyomo/koyo\\_shugyo/6756.html](https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/shoko/gyomo/koyo_shugyo/6756.html)

伊勢・鳥羽・志摩エリアで「おてつたび」をする方に  
『近鉄特急netポイント5,000円分』を提供(2025年2月)

伊勢・鳥羽・志摩エリアで「おてつたび」(「お手伝い(短期アルバイト)」と「旅」を組み合わせた人材マッチングサービス)に参加する方に、近鉄特急netポイント5,000円分を提供。このポイントは特急券の購入時に使用可能で、全国からの参加者が気軽に伊勢・鳥羽・志摩エリアを訪れるきっかけ作りとなり、働き手の交通費負担を軽減することを目的とする。

おてつたび 近畿日本鉄道



<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000141.000036175.html>

### 主要施策6-1 働きやすい就労環境の創出

#### 【具体的な取り組み例】

- 労働環境や住環境の改善を支援するプログラムや補助金の整備
- 外国人労働者のサポート充実
- 従業員の子育て支援の充実
- 従事者向けの合同研修の実施や交流機会の創出

### 主要施策6-2 働きたいと思える魅力的な雇用の創出

#### 【具体的な取り組み例】

- 観光業に対する正しい理解促進と効果的なリクルート(大学との連携、インターン等の受け入れなど)
- 多様な年代の就労支援
- 共同人材確保など同業種の連携強化

### 主要施策6-3 稼げる観光産業に向けた生産性向上と成長支援

#### 【具体的な取り組み例】

- イノベーション、DX、生産性向上等に向けた支援(県や国等とも連携)
- 設備投資やリニューアルが健全に行われるための支援強化(地元の金融機関等とも連携)
- 経営者の支援や育成
- 起業・創業・スタートアップへの支援、経営に関するセミナー等の開催

### 基本戦略7 戰略的な情報発信

ターゲットに合わせ、発信内容や手法を設計し戦略的な情報発信を実施します。来訪者向けプロモーション(BtoC)としては、情報発信戦略を明確に構築し、活用ツールを選定します。特に、鳥羽の海で生きる人々の顔が見える情報や、季節ごとの具体的な過ごし方を発信し、同時に鳥羽市が強みとするバリアフリー対応など、すでに受入体制が整っている情報を適切に発信します。重点マーケットを戦略的に誘致するため、海外重点マーケットへのプロモーションを強化し、海洋関係の学会やシンポジウムの誘致を積極的に行います。また、高付加価値旅行者層向けに特別な旅行体験に必要な情報を集約し、ビジネスパートナーへの提供を強化します。

さらに市民向けのインナープロモーションにも力を入れ、閑散期対策も兼ねた市民や近隣住民向けの優待プログラムを開発し、市民等への利益還元を促します。さらに、市内教育機関と連携した特徴的な教育を実施し、観光の効果や鳥羽の海や漁業に関する研究成果などの情報を充実させることで、市民の理解と参画意識の向上を図ります。

#### 【近年の取り組み】

##### 「鳥羽の男前」(2016年度)

漁師のかっこよさを発信することを目的に地元の漁師をモデルにした、「鳥羽の男前」ポスターを作成。漁師に限らず、鳥羽で働く人に焦点を当てる形でシリーズ化。鳥羽市では、これ以前から「3世代海女」や「海女の湯治場」など、鳥羽の人の顔が見えるプロモーションを実施してきた。



<http://www.koitoba.com/poster.html>

##### 「海女の愛ちゃんが湯く！」サステナブルツーリズムの情報発信(2023年度)

鳥羽市温泉振興会と鳥羽市は、令和5年から市内における持続可能な観光に取り組む宿泊施設を取り材してメールマガジンで発信。こうした内容をSNS等のツールで発信していくことも考えられる。

<https://www.city.toba.mie.jp/material/files/group1/20231206-07.pdf>



### 基本戦略7 戰略的な情報発信

#### 主要施策7-1 来訪者向けプロモーション(BtoC)

##### 【具体的な取り組み例】

- 情報発信・プロモーション戦略の構築(活用ツールの選定、発信内容等)
- 鳥羽うみで生きる人の顔が見える情報発信
- 季節ごとの鳥羽での過ごし方の発信
- バリアフリー対応等、すでに整っている受入環境の適切な情報発信
- 多様な来訪目的に対応した情報発信

#### 主要施策7-2 重点マーケットを意識した戦略的な誘致(BtoB)

##### 【具体的な取り組み例】

- 海外重点マーケットへのプロモーション
- 海洋関係の学会、シンポジウム等の誘致
- 高付加価値旅行者層向けの情報の集約

#### 主要施策7-3 市民向けのインナープロモーション

##### 【具体的な取り組み例】

- 市民や近隣住民向けの優待プログラムの開発(閑散期対策も兼ねた宿泊優待等)
- 鳥羽をフィールドにした特徴的な教育の実施(市内教育機関や移住セクションとの連携)
- 市民向けの情報発信(観光の効果や市民優待、鳥羽の海の状況等)の充実
- 海と共に生きるまちとして海や漁業、水産研究所の研究成果等の発信

## 基本戦略8

## 観光財源の効果的な活用と推進体制の強化

国の動向も見据えつつDMO等の体制強化を図るとともに、2026年4月に導入する宿泊税等を財源とした観光振興を着実に遂行するため、DMOを中心とした官民連携の推進体制を構築します。

具体的には、観光まちづくりを担うDMOの組織そのものの強化を図るとともに、意思決定から実行に至るプロセスにおいて、行政との役割分担の元で一体となった連携体制を強化します。この強固な推進体制と透明性の高い財源活用を通じて、地域全体で観光戦略を共有し、実効性を高めてまいります。

また、観光による収益を地域に還元することで、市民と観光客が共存・共栄できる観光まちづくりを充実・強化します。このために、観光財源を効果的に活用することが不可欠であり、確保した財源を景観や地域資源の保全活用、宿泊客の満足度向上、受け入れ体制の強化、観光インフラ整備などの分野に配分します。

## 【近年の取り組み】

## 「宿泊税」の導入(2026年4月～)

観光資源の魅力向上、旅行者の受入環境の充実その他市民生活と調和した持続可能な観光まちづくりの施策に要する費用に充てることを目的に、令和8年4月1日から宿泊税の課税を開始。



## 「鳥羽市民限定宿泊キャンペーン」(2020年4月)

三重県鳥羽市では、入湯税の30%を鳥羽市温泉振興会に補助金として出し、残りの70%を鳥羽市観光振興基金として積立。50%を観光振興費に充当。コロナ禍でも基金があつたおかげで「鳥羽市民限定宿泊キャンペーン」を国の補助金等が整う前に早急に実施でき、7日間で約千人の予約があった。



### 主要施策8-1 市民と観光客が共存・共栄する観光まちづくり充実・強化

#### 【具体的な取り組み例】

- 観光による効果の市民向け周知
- 観光統計の見直しとマーケティングデータの取得・共有フローの確立
- 市民が観光に関わり交流する機会の創出
- 若者が観光施設の経営などにチャレンジできるまちづくりの推進

### 主要施策8-2 観光財源の効果的な活用

#### 【具体的な取り組み例】

- 宿泊施設の宿泊者管理の効率化支援
- 観光財源活用のガバナンスの確立
- 観光財源の使途のわかりやすい公表

### 主要施策8-3 観光まちづくりを担う観光関連団体(登録DMO等)、振興団体の組織強化、官民連携の強化

#### 【具体的な取り組み例】

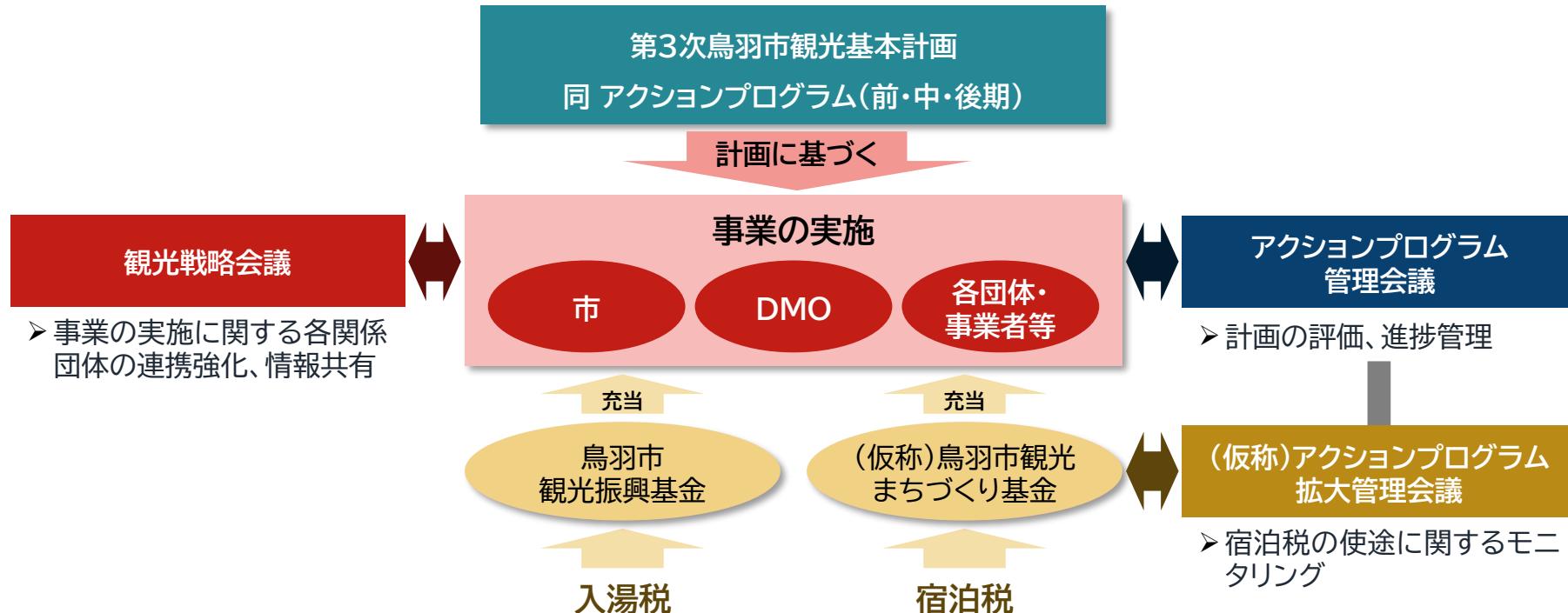
- DMOを核とした関係団体の連携
- DMOの組織・機能強化と地域におけるプレゼンスの発揮
- プロパー人材の採用、育成
- 戦略決定を一元化した体制の構築
- 事務所や人材の共用など団体間の連携による業務効率化の検討
- 次の世代に向けた推進体制の継承

# 第5章 計画の実現に向けて

計画に基づき鳥羽市の観光まちづくりを推進するためには、市や地域DMOである鳥羽市観光協会、相差海女文化運営協議会をはじめ、各関係団体、事業者等が一丸となった官民連携体制を構築することが重要です。

事業の実施にあたっては、各関係団体の実務担当者、若手職員により構成される「観光戦略会議」を設置し、各関係団体の連携強化、情報共有を図ります。また、限りある人材や財源を効果的に配分していくため、市民や観光客の視点から優先して取り組むべき事項を整理して事業を推進する必要があります。

計画の進捗状況を適切にモニタリングするため、各関係団体の代表者や学識経験者により構成される「アクションプログラム管理会議」において評価、進捗管理を行うとともに、新たに「(仮称)アクションプログラム拡大管理会議」を設置し、宿泊税の使途に関するガバナンス体制を構築します。



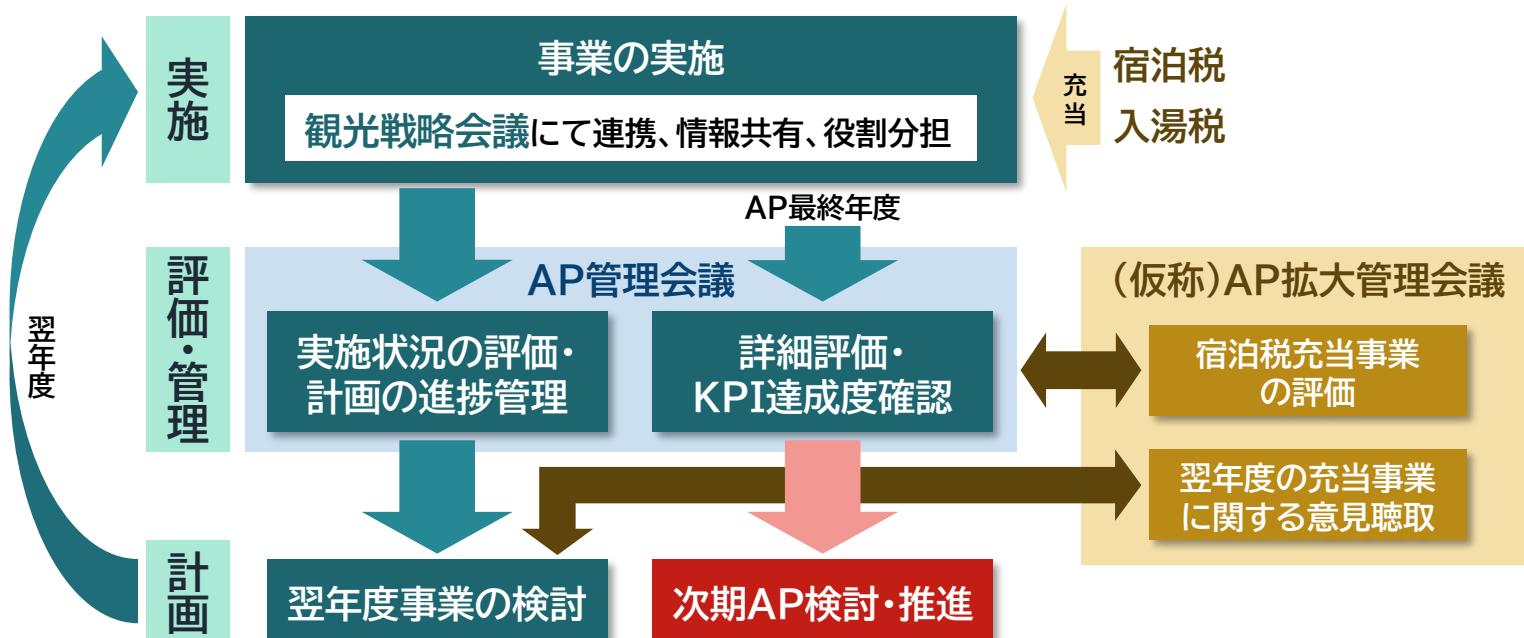
## ● 事業実施と進捗管理の考え方

事業の実施や計画の評価、進捗管理は、毎年度、以下のサイクルで実施します。

計画に基づく事業は、市および各団体が主体となり実施するとともに、「観光戦略会議」において、実施状況や役割分担のため協議を行います。

「アクションプログラム管理会議」における計画の評価は毎年度実施し、アクションプログラムの各期の最終年度には詳細の評価とKPIの達成度の確認を行います。あわせて、宿泊税を充当した事業は「(仮称)アクションプログラム拡大管理会議」に報告し、評価を行うとともに、翌年度に宿泊税を充当すべき事業について意見聴取を行います。

なお、事業実施の考え方、評価、進捗管理の具体的な方法については、各期のアクションプログラムにおいて記載するとともに、アクションプログラム策定時の状況に応じ、適宜見直すこととします。



### 行政の役割

- 観光産業をはじめとする各事業者や市民の取り組みの支援、計画推進の全体調整役を担います。
- 観光財源確保のための取り組みを担うとともに、国や三重県との連携により観光資源の保全活用、統計やインフラ等の観光基盤整備等に関する事業を推進します。
- 観光政策は複合政策としての意義が高まっていることから、課の枠を超えた効果的な連携を推進します。

### DMOの役割

- 地域DMOとして観光振興の中心的役割を担うとともに、質の高い観光の実現に向けて、先導的な役割を果たすことが重要です。
- また、観光客の受け入れだけでなく、観光関連事業者の働きやすさの向上につながる役割も求められます。
- 行政との連携体制の構築のため、必要に応じて人材交流を行うなど、より効果的な取り組みが期待されます。

### 関係団体の役割

- 計画の目標像を共有したうえで、その実現に向けて市やDMO、他団体等と連携した取り組みが重要です。
- 各団体は情報発信、受け入れ体制の構築、プログラム造成など、それぞれの役割を積極的に推進し、鳥羽の観光振興に貢献することが期待されます。

### 生産者の役割

- 漁業と観光の連携を推進するとともに、「鳥羽うみ」などの豊かな自然を守り、観光客に鳥羽の豊かな食を提供するため、行政や関係団体の支援のもと第一次産業をはじめとする他産業の事業者がそれぞれの役割を担うことが重要となります。

### 市民の役割

- 観光都市に暮らすことの恩恵を享受し、観光従事者や観光振興の担い手などの立場で参画することが期待されます。
- 「鳥羽うみ」や海と共に培われた歴史文化がかけがえのない貴重なものであることを認識し、それらを守り、育み、後世に伝える役割が期待されます。

### 宿泊・観光事業者等の役割

- 観光客へのサービス提供やおもてなし、鳥羽産食材等の提供など、直接的に接する立場としての役割を担うことが重要です。
- 必要に応じて市や観光協会との連携体制をとりながら、目標像の実現に向けた積極的な事業の実施が期待されます。

### 来訪者の役割

- 知的好奇心を持ち、鳥羽の自然、歴史、文化、人を尊重し、配慮した行動をとることが求められます。
- 鳥羽産のものを適正な価格で積極的に購入することで、地域経済に貢献し、産業の保護や育成につながる役割が期待されます。

# 資料編

- 策定の経緯
  - 現況データ
- などを掲載(予定)